



虎のように力強い一年に

あけましておめでとうございます。新年を迎えたところですが、学校では、3学期という1年間の終わりの学期になりました。しかし、その後は進学や進級をして、また新たな学年が始まります。次の1年間でどのように迎えるのか、大事な学期です。子どもたちもこの冬休みに心も身体もリフレッシュしたことでしょう。清々しい気持ちで学年最後の学校生活をスタートさせて欲しいと思っています。

さて、今年の干支は寅(とら)ですね。虎とえば、黄色と黒の縞模様が代名詞です。その色使いは人間社会では標識など警戒のイメージで使われていますが、実際は、虎が獲物を捕らえる時には付近の樹木に紛れて迷彩柄になるそうです。何であんな派手な柄が自然の中でカモフラージュになるのか不思議だったので調べてみると、人間などを除いて多くの哺乳類は、カラーではなく白黒で物を見ているので、黄色い色は関係ないのだとか。

また、虎は、その昔毛皮の模様から前身を夜空に輝く星と考えられていたそうです。決断力と才知の象徴としての意味もあり、縁起物としても親しまれています。さらに、虎にまつわることわざや故事がたくさんあることから、虎が人に近い存在だということもわかります。

「虎穴に入らずんば、虎児を得ず」

虎の住む穴に入らなければ、虎の子どもを奪い取ることはできない。つまり、大変な危険を冒さなければ功名や成功を得ることはできないというたとえです。最近では、危険を冒すどころか失敗を恐れて安全な所でもチャレンジしない子どもが増えているような気がします。

「虎の威を借る狐」

力のない者が、強い者の権威を頼みにして威張ることのたとえです。さすがに小学校でこのような子どもは見たことはありませんが、学園ドラマのいじめっ子がこういう設定なのはよく見かけます。



「前門の虎、後門の狼」

一つの危難や障害から身を守っても、さらにまた他の危難や障害が現れることのたとえです。同時に挟まれている場面を想像する人も多いのですが、実は、一難去ってまた一難に近いです。ちなみに、私はなぜか虎にも狼にもよく出遭います。

「虎は千里行って千里還る」

行動範囲の広い虎は、一日に千里も行って、またその千里を戻って来ると言われることから、勢いの盛んなことのたとえとされ

ています。さらに、子 pensando 帰るという意味から、親の子に対する情愛の深さをたとえる言葉で、戦争に赴く兵士の無事を祈願した「千人針」の由来にもなっているそうです。人間も、子どもたちは元気よく、大人は子どもへの愛情に満ちた存在でありたいものです。

その他にも「虎の尾を踏む」「虎に翼」「虎の巻」「虎の子」など、虎にまつわる言葉は、強さや親の愛情の深さを感じることは多いような気がします。

寅年の今年、虎のように力強い1年になれば良いですね。でも、同じ虎でも「張り子の虎」にはならないようにしたいものです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

学習参観時のビデオ・写真撮影について

2学期に実施したオープンスクールには、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。従来の学習参観と違って、来校時間が自由だった事に歓迎の声をたくさんいただきました。今後もよりよい方法を求めて検討を重ねていきたいと思ひます。

そのオープンスクールの中で、授業中のビデオや写真の撮影についてご質問をいただきましたので、学校としての見解をお伝えしておきます。

3学期は、1月と2月に学習参観を2回予定しています。学習参観の目的は、児童の学習の様子をご覧いただくためのものですから、授業中のビデオ・写真撮影はご遠慮いただきたいと思っています。せっかく目の前にお子さんがいるのですから、レンズ越しではなく実際にご覧いただき、一生懸命授業に参加している様子を褒めていただきたいと思ひます。(時には苦言を呈していただく場合があるかも知れませんが…。) 子どもの方も、国語や算数の授業中に何十台ものスマホやカメラを向けられたり、カシャカシャとシャッター音が鳴ったりしている中では、授業に集中できないと思うのですが、いかがでしょうか。

しかし、そうは言っても子どもの小学校生活の記録として何か残しておきたいと思ひ親心も十分承知しています。学年によっては、音楽発表や学習発表などの発表形式の参観を行う場合もあります。その時は運動会に準じてお子さんが発表する場面を中心に活躍するようすを撮影していただくのは構わないと思ひます。要するに通常の教科参観は不可ですが、発表的な参観は可と考えてください。(学校の方でも撮影可否の表示をします。)

学習参観での写真等の撮影については明確な規定はありません。個人情報の保護を理由に一切禁止することも考えられますが、そうすると学習参観だけでなく、運動会や入学式や卒業式の撮影も禁止せざるを得ません。だからと言って全面的に自由にするのもちょっと違います。学習参観の本来の目的を考えて、保護者の皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

もちろん、撮影された映像や画像は、必ずご家庭内だけにとどめていただき、SNSへの投稿など外部への提供は絶対になさらないようにお願いします。

